スイスで感じたこと

流石理一

スイスを訪れた中で、最も鮮烈な記憶として残っているのは、世界一の急勾配を誇る登山鉄道でピラトゥス山の山頂へ登った時のことだ。ガタゴトと急な斜面を登りきった先、雲の切れ間から姿を現したルツェルン湖の光景は、息をのむほど美しかった。深い青をたたえた湖がどこまでも広がり、山々と美しく調和する姿は、まるで一枚の絵画のようだった。

しかし、その絶景の余韻に浸る間もなく、山頂付近で私を待ち受けていたのは「大量の虫」の襲来だった。あちこちに虫が飛び交う予想外の事態に驚きを隠せなかった。

さらに、この旅は言葉の壁を越える貴重な経験となった。私は英語があまり得意ではなく、最初は不安でいっぱいだった。しかし、思い切って自分から現地の人やホストファミリーに積極的に話しかけてみたところ、笑顔で温かく応じてくれたのだ。ボディージェスチャーやカタコトの言葉でも、心を通わせることは十分にできた。

「案外、どうにかなるものだ」そう実感できたことは、今回の旅の大きな収穫だった。美しい自然の感動とともに、失敗を恐れず飛び込んでいく勇気の大切さを学んだ、忘れられない旅となった。